



深野中学校だより

《校訓》
知性・創造
錬磨・友愛

2024 年8月 26 日
校長 田中 健二

行事が目白押しの2学期

お互いにエールを送りあえる関係を

長い夏休みを終えて、本日より2学期が始まりました。始業式の式辞として子どもたちに伝えたことをいかにあげておきます。

連日猛暑の続いた夏休みが終わり、本日より、いよいよ2学期が始まります。一学期の終業式で、皆さんにお話ししたことを覚えているでしょうか。一つは学校閉庁日が長くなった分、自立した生活を送りましょうということでしたね。約二週間の閉庁期間を有意義に過ごせましたか。もう一つはオリンピックで頑張った内外の選手から良い意味で刺激をもらおうと言いましたが、いかがでしたか。私自身は時差のため、競技によってはなかなかリアルタイムで見えることはできなかったのですが、それぞれの目標に向かって必死に戦い抜くアスリートの姿に何度も感動しました。ただし、勝者がいるということは、もっと多くの敗者もいるという残酷な現実もあるのだということも目の当たりにしました。結果がどうあれ、一途に努力してきた彼らに拍手を送りたい気持ちでいっぱいだったのですが、大会を通してとても残念なこともありました。負けた選手、失敗した選手に対して心無いメッセージが連日届けられるという事象です。「誹謗中傷」ということばが毎日のように報道され、そういったことをやめるよう、オリンピック協会が異例の警告を出す事態となりました。匿名という壁に隠れながら、頑張る人の足を引っ張って自己満足する行為は褒められるものではありません。結果に関わらず、頑張る姿に対して素直に応援できるようでありたいと思います。

2学期は体育大会や文化学習発表会など、大きな行事が目白押しです。勝敗を競う場面もあるでしょう。そこでは勝ちもあれば当然負けもある。成功することも失敗することもあるはずです。結果がどうあれ、全力を尽くしたお互いにエールを送れる行事になることを心から願っています。

子どもたちの家庭での様子はいかがでしたか。長い休みで、時間の感覚が少しずれてしまっているかもしれません。まだまだ残暑厳しい折柄、体調管理に気を付けて、良いスタートを切らせてあげてください。

2学期もよろしくお願いします。

教員の着任・復職および休職のお知らせ

年度の途中ではありますが、数名の教員が着任したことをお知らせします。

台風 10 号接近に関わる連絡

現在、台風 10 号が日本列島に接近しています。警報発令時の対応は生徒手帳 P.14～P.15 に書いているとおりです。

台風の進路等によっては、今後の行事予定が変更になる可能性があります。ニュース・天気予報をしっかりと見ておいてください。

「台風」や「地震」時の対応について

(1)大阪府全域あるいは大東市に「暴風警報」が発令された場合、以下の対応とする。
※大雨・洪水・高潮・波浪警報は該当しない
※大雨・洪水警報は原則として急行措置としないが、学校区の状況により市教委と対応を協議し決定する。

(中学校)

1. 午前7時現在で警報が発令されている場合	・生徒は登校を見合わせ、自宅待機 (中学校給食の停止)
2. 午前9時までに警報が解除された場合	・午前10時始業9時50分までに登校 ・午前中授業 (昼食は持参しない)
3. 午前9時現在で警報が解除されていない	・臨時休業
4. 生徒が在校時に警報が発令された場合	・学校待機 ・気象情報、校区の状況を的確に把握した後、教職員による安全確保を行い、まとって下校

(備考)

- ① 学校への問い合わせは、原則としません。学校ホームページを確認してください。
- ② テレビ等による定時天気予報の他、気象予報の「警報」又は「解除」は大阪管区気象台よりその都度、テレビ等にてテロップが流されます。
- ③ 洪水・高潮・波浪等の各警報の場合は、平常通りの授業を行います。
- ④ 上記の措置にかかわらず、学校から連絡があった場合、それに従ってください。

(2)「特別警報」発令時の対応について
大阪府全域あるいは大東市に「特別警報」が発令された場合、以下の対応とする。

1. 午前7 時現在で「特別警報」が発令されている場合	・臨時休業
2. 在校時に「特別警報」が発令された場合	・教育委員会の指示があるまで学校で待機 ・その後、市教委の指示により安全確認等を行い、保護者への引き渡しを下校の基本として対応

(3)地震発生時の対応について

	地震発生時の基本的な対応
児童・生徒が在宅時	・震度5弱以上の地震が発生した場合 ⇒学校から連絡があるまで自宅または避難場所に待機
児童・生徒が登下校中	・ブロック塀や自動販売機などから離れ頭部を保護し安全な場所に避難して身を伏せて待機 ・揺れが収まった後に学校または家の安全な方に避難
児童・生徒が在校中	・震度5弱以上の地震が発生した場合 ⇒原則、保護者への引き渡しによる下校 ※保護者の迎えがあるまで学校に待機 ・震度4以下の地震が発生した場合 ⇒校舎等に異常がなければ授業の再開 ⇒下校時には、通学路の安全確認の後、教職員の引率等も含め安全に配慮して下校

☆地震に備えて：地震がいつ起こっても慌てず行動ができるよう、学校や家族全員で、地震の実例、被害状況や地震の心得について話し合うとともに、いざという時のために各人の役割分担を決めておきましょう。